

» 採用FAQ

Q.1

選考で重視することは
何ですか?

何ごとも人ととのつながりから始まるものです。私たちは学部や専攻より、一人ひとりの考え方や人柄を感じ取りたいと思っています。

Q.2

必要なスキルは何でしょう。
設計職はCADなどの
経験がないと難しいですか?

特にありません。CAD未経験で入社した女性社員が主力製品の設計を担当し、その面白さに開眼。今や3DCADを自在に扱う貴重な人材として活躍している例もあります。学びの機会は豊富なので、入社後にいくらでもスキルアップできますよ。

Q.4

福利厚生について
教えてください。

育児休業制度は法令に基づいて完備。現在、短時間勤務制度を利用している社員もいます。有給休暇についても、気兼ねなく取得できる雰囲気なので安心ですよ。また社員旅行も、費用半額負担で毎年行っています!

Q.3

設計職の仕事のやりがいや
面白さは何でしょう。

自分のアイデアや創意工夫により困りごとを解決できたとき、面白さややりがいを感じられるでしょう。また、司令塔として工事や製品が具現化していく過程に携わり、目指していた品質を満たすことができたときの達成感や充実感は格別です。

Q.5

求める人物像について
教えてください。

部署を超えて連携をはかる場面が多くあるので、チームワークを大切にできる協調性と、自ら考えて行動できる積極性が求められます。モノづくりの達成感と喜びを感じられる人とともに会社の未来をつくっていきたいですね。

Q.6

社風や職場の雰囲気は?
どんな先輩社員がいますか。

皆さんに身につけるべき技術は、先輩社員が親切に教えてくれるので大丈夫。困ったことがあっても、解決に向けて相談し合える環境が築かれているので安心してください。出身学部に関係なく活躍している先輩がたくさんいますよ。



株式会社
越後交通鉄工所

本社 〒940-2108 新潟県長岡市千秋2丁目2788番地1 千秋が原ビル5階
事業所 長岡工場/〒940-2045 新潟県長岡市西陵町2674番地13(雲出工業団地内)
新潟営業所/〒950-0964 新潟県新潟市中央区網川原1丁目21番9号
TEL/0258-27-5880(本社総務課) E-MAIL/soumu@ekt.jp

<http://www.ekt.jp/>

なにが

できるの

だろう?



株式会社
越後交通鉄工所

高品質にこだわり、 美しき鋼構造物をつくる。

水門と橋梁を主体とした鋼構造物の設計、製作、据え付けが当社の主な事業です。こだわりは、多くの公共工事で培ってきた高品質。外観の美しさも含め、要望以上の仕上がりを信条に日々技術向上に努めています。また、業界大手と共同開発した自社製品の全国発信や、産学連携による課題解決、地域に根ざした電源開発など、新事業へつながる取り組みも着々と進んでいます。確固たる安定基盤と技術に支えられた多くのチャレンジが、当社の未来を創り出しています。



Excellent Kindly Technology

越後交通鉄工所の 3つの強み

公共事業に特化した 安定経営

当社は、公共工事における鋼構造物の製作を専門分野としています。役所からの発注を元請けするほか、ゼネコンから工事の一部を受注することで、安定した経営を実現してきました。信頼の源は、数々の現場で培ってきた技術とノウハウ。近年では、工場の稼働率をさらに上げて新たな基盤を確保するため、業界大手との提携による新製品の開発や製作も手がけるなど、全国をカバーする製品づくりの拠点として新たな価値を創造しています。



社内塾あり! 資格取得サポートも万全

土木施工管理技士の有資格者は半数以上。社員50名弱のコンパクトな企業でありながら、規模の大小を問わず多くの公共工事を受注できるのは、優れた技術者たちがとことん品質にこだわり続けてきた結果です。文系出身者や、女性社員にも積極的に資格取得を促し、そのサポート体制も整えました。初回にかぎり必要経費を全額負担するほか、受験者向けの社内講習会を実施し、一人ひとりのスキルアップを後押しします。



ただの鉄工所では ありません

水門や橋梁の製作だけでなく、設計から据え付けまで一貫して担当するのが当社の強み。資料の作成や特有品質の実現、立ち会い検査への対応など、公共工事にまつわる様々な要求に応えることができます。地図に残る仕事に携わる醍醐味も、より深く感じられることでしょう。また、役所の厳しい基準をクリアする技術を支えるのは、全社一丸となってモノづくりに取り組むチームワーク。柔軟な発想やアイデアは、部署を超えた連携から生まれます。



» 設計職の仕事紹介

地図に残る仕事に携わる越後交通鉄工所。当社での設計職はどんな仕事をしているのでしょうか。工事スタートから完成までの流れとあわせて紹介します。

設計職の役割

設計照査

設計職は、発注者から支給される設計図書(仕様書や設計図面など)について、不明や不備、相違がないか照査。現地調査に出向き、架設計画や仮設備計画、人員配置などを立案する。



工事受注・工事連絡会議

受注後、有資格者の中から現場代理人、主任技術者を指名して工事チームを編成。そこに営業課・工務課・設計課より選任されたメンバーを工事チーム員に加えて工事連絡会議を開く。品質や原価、納期などについて協議する。



1

2

3

4

5

6

7

8

打ち合わせ



設計照査や現地調査の結果をふまえ、不明や不備を発注者、工事チームと協議し、全てを明確にして承諾図書作成へ。

材料・購入品・外注の手配



承諾図書に基づき、工務課で製品材料・購入品・外注業者の手配を行い、品質保証課にて材料検収(注文通りの製品が納品されているかの検査)を行う。

工場製作・仮組立



製品を製作し、工場で実際に組み立てる。性能や機能が満たされているかを確認。

完成検査・竣工



製品を現地へ搬送し、据え付ける。発注者による製品の完成検査を受け、クリアしたら引き渡し、完成。

承諾図書作成

設計職のメイン業務。実施仕様書(発注者へ製品の工法や材料などの納品仕様を説明した書類)や構造計算書(構造物の強度計算結果などをまとめた書類)、設計図面などを取りまとめ「承諾図書」としてファイルを作り、発注者に提出。承認を得た段階で、初めて製作がスタートする。



設計の妥当性確認

ISO9001を取得しているため妥当性確認は必須。工場仮組立の際の問題点や注意点などを設計者が製作員にヒアリングし、生じた課題を次の図面に生かす。

